

□

問一 ① 筋力 ② ゆらい ③ 検討 ④ 慣(れ) (2点×4)

問二 1 エ 2 ア 3 イ 4 オ (2点×4)

問三 固定した見方が崩れつつある (6点)

問四 ウ (4点)

問五 障害のない人の目を見えない状態にして、ブラインドサッカーができるのではないか。 (6点)

問六 障害のある選手が、障害のない人より劣っているということ。 (6点)

問七 イ (4点)

問八 「ちがひ」をめぐる知識の在庫を豊かにしつつもそれを常に疑い、他者への想像力を磨いて豊かにしていく楽しさを味わうこと。 (8点)

□

問一 ① 専念 ② 捨(て) ③ きょうめい (2点×3)

問二 1 オ 2 イ 3 エ (3点×3)

問三 水泳部を水泳愛好会に格下げし、龍一個人は都大会に出られるようになること。 (6点)

問四 たじろいだ (5点)

問五 リーダーシップがあり、部員からしたわれる存在であったタケルは、自分とは違ふと思っていた。 (6点)

問六 ウ (4点)

問七 龍一が水泳部の主将を務め、弓が丘杯のメドレーリレーでトロフィーをとること。 (6点)

問八 以前は個人として公式戦に出ることしか考えていなかったが、やりとりを通して、部員と力を合わせて、皆とローカル大会に出場することを考えるようになった。 (8点)